

(様式1)

平成30年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 014	提案機関名 (一社) 神奈川県園芸協会 (県花き園芸組合連合会)
<b>要望問題名</b> カーネーションの芯どまり対策と開花抑制技術の検討	
<b>要望問題の内容</b> 【 背景、内容、対象地域及び規模 (面積、数量等) 】 カーネーション栽培で技術的課題の一つ、摘芯位置による芯どまり対策と開花抑制技術の検討をお願いしたい。 気象条件によっては、全国的に出荷時期が集中することがある。栽培技術又は出荷調整技術として出荷時期を抑制できれば経営的なメリットは非常に大きい。	
<b>解決希望年限</b>	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内
<b>対応を希望する研究機関名</b>	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター <input type="checkbox"/> ②畜産技術センター <input type="checkbox"/> ③水産技術センター <input type="checkbox"/> ④自然環境保全センター
<b>備考</b>	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

<b>回答機関名</b>	農業技術センター	<b>担当部所</b>	生産技術部 果樹花き研究課
<b>対応区分</b>	<input type="checkbox"/> ①実施 <input type="checkbox"/> ②実施中 <input checked="" type="checkbox"/> ③継続検討 <input type="checkbox"/> ④実施済 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可		
<b>試験研究課題名</b>	(①、②、④の場合)		
<b>対応の内容等</b>	摘心位置による芯止まりは品種特性によるものが大きく、早晚性によっても摘心後の分枝の発達程度は異なりますのでまず、品種特性を把握し、摘心位置を決めていくことが有効であると考えられます。現在の品種比較試験の中で摘心位置を変えて分枝の発達程度を調査することは可能ですので、芯止まりで困っている具体的な品種があれば課題化を検討します。また、高温、長日期に向かう時期に施設内での開花抑制は、施設内温度や日長を抑制する必要があり大きなコストとなります。蕾で収穫した切り花を冷蔵して保管し、開花させて出荷することが有効と思われるので他県で実施している蕾切りの開花調節に関する情報を提供します。		
<b>解決予定年限</b>	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内		
<b>備考</b>			